



地域包括ケアシステムシンポジウム

# いつまでも自分らしく 生活していくために

～病病連携・病在連携をとおして～

令和元年 **12/14** **土** 午前10時～午前11時30分  
受付開始：午前9時30分

会場 鳥取市総合福祉センター さざんか会館 5階大会議室  
※駐車場はさざんか会館駐車場・鳥取市役所駅南庁舎駐車場をご利用ください。

参加費  
**無料**  
申し込み不要

今後、団塊の世代が75歳以上となる2025年には、医療と介護のニーズを合わせ持つ高齢者の方が増大します。この様な中、医療と介護の一体的な提供を可能とする体制整備が進められてきています。

医療では、地域医療構想により、急性期から回復期、慢性期まで、将来の医療ニーズの予測を踏まえ、関係者の協議によって地域に必要とされる医療提供体制（機能分化）の整備が進められています。

一方、地域包括ケアシステムの推進により、要介護の状態となっても可能な限り、住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制構築を目指しています。

医療と介護は、車の両輪に例えられ、補完しあいながら、その連携を推進する必要があります。

当地域においても、その連携推進の一助となるような様々な取り組みがなされており、その一部をご案内し、今後の更なる推進を図ります。

開会あいさつ 10:00～10:05

講演会【第1部】 10:05～10:20

演題

「地域医療構想・機能分化とは？  
地域包括ケアとは？」

講師

鳥取市立病院  
地域医療総合支援センター長 足立 誠司

講演会【第2部】 10:20～11:25

演題

「病病連携・病在連携を  
とおした高齢者夫婦の支援」

講師

鳥取県立中央病院 患者支援センター  
医療ソーシャルワーカー 森次 奈穂美氏  
鳥取中央地域包括支援センター所長 武田 恵子氏  
鳥取市立病院 看護師 坂根 愛里  
鳥取市立病院 医療ソーシャルワーカー 長谷川 沙織

閉会あいさつ 11:25～11:30

【お問い合わせ先】 鳥取市立病院地域医療総合支援センター TEL0857-37-1522(代) FAX0857-37-1558

【主催】 鳥取市立病院 【共催】 鳥取市保健医療福祉連携課、中央保健センター

【後援】 公益社団法人 鳥取県医師会、一般社団法人 鳥取県東部医師会、一般社団法人 鳥取県東部歯科医師会、公益社団法人 鳥取県看護協会、一般社団法人 鳥取県薬剤師会東部支部、鳥取県老人保健施設協会、鳥取県老人福祉施設協議会、一般社団法人 鳥取県介護福祉士会、一般社団法人 鳥取県社会福祉士会、鳥取県訪問看護ステーション連絡協議会、鳥取県介護支援専門員連絡協議会、鳥取県小規模多機能型居宅介護事業所連絡会、若美町役場、八頭町役場、智頭町役場、若桜町役場、新日本海新聞社、いなびりょんびょんネット